

# 令和4年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和4年(2022年)6月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	15.6	17.3	△ 1.7	23.1	23.4	△ 0.3	8.3	11.4	△ 3.1
5.2	19.8	18.0	1.8	26.1	24.0	2.1	15.0	12.2	2.8
5.3	18.7	18.5	0.2	22.3	24.5	△ 2.2	15.5	12.7	2.8
5.4	18.6	19.1	△ 0.5	26.7	25.1	1.6	11.9	13.4	△ 1.5
5.5	22.0	19.8	2.2	29.3	25.7	3.6	15.2	14.2	1.0
5.6	21.9	20.5	1.4	28.0	26.3	1.7	16.6	15.1	1.5
平均・計	19.4	18.9	0.6	25.9	24.8	1.1	13.8	13.2	0.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	3.0	30.8	△ 27.8	56.5	32.5	24.0			
5.2	0.0	35.5	△ 35.5	35.0	32.5	2.5			
5.3	24.5	37.7	△ 13.2	9.0	33.0	△ 24.0			
5.4	0.0	32.9	△ 32.9	35.7	34.0	1.7			
5.5	0.0	27.4	△ 27.4	53.1	34.0	19.1			
5.6	13.0	29.5	△ 16.5	47.0	38.7	8.3			
平均・計	40.5	193.8	△ 153.3	236.3	204.7	31.6			

## II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 登熟期間は概ね平年並みで、成熟期も平年並みとなる見込みである。
- (2) カンキツ : 開花はほぼ平年並みであるが、産地や品種によって3～4日の早晚が見られる。着花量はほとんどの産地・品種で少なく、全体に裏年傾向である。
- (3) ナシ : 平年に比べて幼果の生育は早い。一部の産地で、晩霜による果実障害が散見された。

### III 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2022年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち) 苗立枯病 もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病	5月下旬の共同育苗施設(27施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。  表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>0</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>11.1</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	0	1.5	苗立枯病	0	2.9	もみ枯細菌病	0	1.2	ばか苗病	11.1	0.4	—	—
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
いもち病	0	1.5																		
苗立枯病	0	2.9																		
もみ枯細菌病	0	1.2																		
ばか苗病	11.1	0.4																		
セジロウンカ	予察灯(県内4か所、4月1日～5月30日合計)における誘殺数は、0頭(平年0.3頭)で平年並みであった。 5月31日に山口市のネットトラップで初確認され、平年並みであった(平年初確認6月4日)。	—	—																	
トビイロウンカ	4月1日～5月30日の予察灯及び5月20日～5月31日のネットトラップでは確認されなかった(平年初確認日7月10日)。	—	—																	
ヒメトビウンカ	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は217.6頭(平年41.0頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	4月1日～5月30日の予察灯では確認されなかった。	—	—																	
イネミズゾウムシ	予察灯(県内4か所、4月1日～5月30日合計)における誘殺数は、8頭(平年15.9頭)で平年並みであった。成虫誘殺ピークは認められなかった。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年20.5%)、発病穂率0.1%(平年0.6%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.3%(平年37.7%)、発病穂率1.6%(平年1.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 547																	
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.8%(平年4.1%)、発病茎率0.2%(平年0.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 182																	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ (調査ほ場数: 中旬 17、下旬15) うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年1.8%)、発病葉率0% (平年0.4%) で 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年0%)、発病葉率6.2% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 91
			中 91
			計 182
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率23.5% (平年33.4%)、発病茎率18.6% (平年 25.1%)、発病度6.7 (平年9.7) であっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率46.7%、 発病茎率21.9%、発病度10.5であった。	県内全域	多 91
			少 547
			計 638

## 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率 5.3% (平年2.5%)、発病葉率0.1% (平年 0.1%)、発病度0.0 (平年0.0) で平年並み であった。	県内全域	少 57
			計 172
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率 15.8% (平年1.0%)、発病葉率0.3% (平年 0.0%)、発病度0.1 (平年0.0) で平年に比 べ多かった。	県内全域	少 172
			計 517
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4% (平年34.1%)、発病花率2.1% (平年1.8%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 287
			少 230
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平 年12.1%)、寄生葉率1.5% (平年1.5%) で 平年並みであった。	県内全域	少 57
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年25.2%)、寄生新梢率0.3% (平年 1.2%) で平年に比べやや少なかった。主要 種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 172
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀ほ場数:9)	初発生は認められていない (平年7月7 日)。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年 1.1%)、発病葉率0% (平年0%)、発病新 梢率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平 年6.0%)、発病葉率0.1% (平年0.1%) で 平年並みであった。	県内全域	少 11
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平 年8.0%)、発病葉率0.2% (平年0.1%) で 平年に比べやや多かった。	県内全域	少 22

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年22.7%)、寄生新梢率3.5% (平年0.9%)で平年に比べやや多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚	11
			多	11
			少	22
			計	44
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生ほ場率40.0% (平年0.7%)、寄生葉率0.5% (平年0.0%)で平年に比べ多かった。主要種はカンザワハダニであった。	県内全域	少	66
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年3.3%)、被害新梢率1.3% (平年1.6%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中	22
			少	11
			計	33
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生ほ場率6.7% (平年1.5%)、寄生葉率0.0% (平年1.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	11
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(4月26日～5月25日合計)における誘殺数は、萩市では2頭(平年15.3頭)で平年に比べやや少なかった。下関市では2頭(平年19.7頭)で平年並みであった。	県内全域	—	
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年33.3%)、発病葉率6.2% (前年4.9%)であった。	下関市	中	1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	予察灯(県内5か所、4月26日～5月25日合計)における誘殺数は71頭(平年70.2頭)で平年に比べやや多かった。主要種はチャバネアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所、5月1日～25日合計)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は242頭(平年749.6頭)で平年並みであった。	県内全域	—	

## 3 野菜

2022年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ (調査ほ場数：18) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.1% (平年34.9%)、発病株率29.9% (平年 17.0%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	21
			多	21
			中	7
			少	28
			計	77
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年18.6%)、発病株率0.4% (平年1.0%) で平年並みであった。	県内全域	少	21
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年 0.6%)、発病株率0% (平年0.0%)で平年並 みであった。	—	—	
さび病、萎黄病、 ボトリチス属菌に よる葉枯れ症 (白 斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	
萎縮病	中旬の巡回調査時に、山口市で発生を認め た。	山口市	少	1
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年49.6%)で平年並みであった。	県内全域	中	7
			少	56
			計	63

お問い合わせ先  
山口県病害虫防除所  
TEL (083)927-4006  
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp